

おおつか
大塚 あかね 議員
(民主党)



- ◇羽村の水を飲み続けるために
- ◇公共施設使用料の見直しを！
- ◇コミセンの今後の運営

羽村の水を飲み続けるために

「安全で美味しく、安い」羽村の水は私達市民の財産である。この水をいつまでも飲み続けていくために市の考えを伺う。

質問 使用料等審議会で水道料金の改定が示されているが、どのような審議がなされているのか。

市長 水道事業の現状と、今後の水需要や給水収益の状況、施設整備の

必要性等を説明した。

質問 平成22年3月に策定された「水道ビジョン」には「平成25年度に現金保有高が補いきれなくなる」と示されているが現状はどうなっているのか。

市長 今年度改めて試算した結果、現行の料金設定を継続した場合、現金保有高は平成27年度にマイナスに転じる見込みとなった。そこで今回の水道料金の改定が必要となっている。

公共施設使用料の市内在住勤利用者
と市外利用者の料金見直しを！

市外利用者の使用料金を3倍と設定している近隣自治体もある。羽村市は同額、あるいは1.5倍。市民の税金で建設、維持管理、運営されている公共施設。料金の設定見直しを今こそ図るべきではないか。

質問 市内在住勤利用者と市外利用者の現行料金設定は差がなさすぎではないのか。

市長 スポーツセンター、スイミングセンター使用料は利用区分毎の料



▲おいしくて安全な羽村の水道水

金に1.5を乗じた額としている。他の市の施設使用料の状況等を調査した上で、9月開催予定の使用料等審議会において審議していただく。

コミュニティセンターの
今後の運営について

質問 地域の中核施設として今後ど

のような運営がされていくのか。

市長 地域振興の拠点施設として再整備する観点から検討している。市民活動センターの機能充実・拡充に努めるよう、具体的な実施計画を定めていく考えである。

はまなか としお
濱中 俊男 議員
(新政会市民クラブ)



- ◇子育てに関して
- ◇卓球場について
- ◇道路の通称名の表示板について

子育てに関して

質問 大島・子ども体験塾をより拡充すべきでは。

市長 子どもたちの多くが、自然や人とのつながりに感動し知識を得ている。この経験は、人材の育成に寄与するものであり、さらなる内容の充実を図っていく。

質問 学童クラブを小学校内へ移動すべきでは。

市長 家庭に代わる生活の場との位置づけであり、現行の施設で運営していく。

質問 民間委託や指定管理者制度の

活用についての考えは。

市長 学童クラブ、放課後子ども教室児童館については、それぞれの特性を踏まえ、施設の役割、機能を維持し、サービス水準を高めることを基本に、より効果的な方策を検討していく。

質問 子育ての課題について、どう考え、どう行動していくのか。

市長 子どもや若者が将来に夢が持てる社会環境の整備に努め、質の高い幼児期の学校教育・保育の提供と、実情に応じた子ども・子育て支援の充実を図っていく。

いしい ひさお
石居 尚郎 議員
(公明党)



- ◇花と水と童話のまちづくりを
- ◇子育て支援の組織体制の充実を
- ◇各地域の実情に合った防災対策を

花と水と童話のまちづくりを

質問 「童話の動物公園」をさらに充実させていく考えはあるか。

市長 これからも素朴な中にも温もりが溢れる親しみやすい動物公園を目指し、様々な視点で創意工夫を重ねていく。

質問 「花と水と童話のまち」として、羽村市をアピールしているのはどうか。

市長 「花」と「水」が羽村市の持つイメージとして定着してきている。「童話」は、市民意識の醸成やイメージの形成が必要である。今後の市政運営の参考にしていく。

質問 童話のまちづくりを推進するうえで図書館の充実は。

教育長 子育て支援、赤ちゃん向けや幼児向けおはなし会の充実、童話、絵本の整備を図っていく。また、乳幼児期から繋がる児童図書や中高生向けの図書等の充実を図っていく。



▲童話をモチーフにした羽村市動物公園の「なかよし動物園」

子育て支援の組織体制の充実を

質問 学童クラブ・児童館の充実、指定管理者制度やPFIなど民営化に向けた取組みを開始する考えは。

市長 それぞれの特性を踏まえ、施設の役割、機能を維持し、サービス水準を高めることを基本に、より効果的な方策を検討していく。

質問 各地域の実情に合った防災対策を今後どのように推進するのか。

市長 社会インフラなどのハード面はもちろんのこと、自助への取組みを促進するため、防災意識の啓発や、防災教育・防災訓練を充実していく。

質問 各地域の自主防災組織の活動に対する支援と今後の支援計画は。

市長 引き続き、活動に必要な資器材の整備、充実を図るための地域の防災力向上への取組みに対する支援を通じて、自主防災組織の活動を支援する。

卓球場について

質問 子どもから高齢者までが楽しめる卓球の環境づくりは。

教育長 健康増進と体力づくり等を目的に環境整備を図っている。競技スポーツとして取り組みたい方には、卓球連盟等の紹介をしている。

道路の通称名の表示板について

質問 表示板が設置された時期と設置数は。

市長 昭和57年に、主要道や歴史的な道など26路線に設置した。

質問 名称由来説明板を改修する予定はないか。

市長 設置から30年が経過し、全般にわたり補修作業を順次進めていく。



▲スポーツセンター卓球場

ふなき よしのり
船木 良教 議員
(新公会市民クラブ)



◇公有資産を活かすマネジメントが
自治体経営改革のポイント

公有資産を活かすマネジメントが
自治体経営改革のポイント

質問 公有資産のあり方は全庁的な意見集約を図ることがポイントと考

市長 公有資産の有効活用は将来のまちづくりのあり方や、市財政にも大きな影響を及ぼすことから、今後、全庁を挙げて将来の公有資産の必要量を見込み、対応策をまとめ、プロ

ジェクトチームを設置して、方向性を検討していく。

質問 総人件費、公共サービスの総点検、外郭団体、資産・債務の見直し、公会計制度はどう考えるか。また、公有資産の最適な処分・有効活用に関する維持管理や改造など、必要性、物理的性能、経済的価値等の査定を基に民意を反映し最適活用を図るべきと考えるがいかがか。



▲羽村市役所

市長 公有資産については、今後の社会経済情勢や価値観の変化の中で、市民ニーズに行政のみで対応するには質・量的にも限界がある。行政責任を担保しつつ、公の施設の設置意義や成り立ち、今後の必要性を再点検する中で、効率的かつ効果的な有効活用を追求していく。客観的な評価は公共性、費用対効果等の指標により、人件費を含めた公共施設サービスの総点検を行う中で、外郭団体や民間事業者等の活用を検討する。また、市の資産・債務等をわかりやすく示すための新公会計制度については、

すずき たくや
鈴木 拓也 議員
(日本共産党)



◇オスプレイ飛来だめの声あげよう
◇公共料金値上げストップ その②
水道料金について

横田基地へのオスプレイの飛来を
許さない、の声をあげよう

7月29日に米太平洋空軍司令官が「オスプレイを横田基地に配備する可能性は大きい」と発言した。人口密集地にある横田基地への配備は絶対に認めることはできない。市の考えと対応策を聞く。

質問 オスプレイの配備について、どのような情報を得ているか。



▲水道事務所横にそびえ立つ配水塔

市長 報道を受け、外務省、防衛省に真偽を問う連絡を入れたが、その時点では明確な回答はなかった。その後、外務省から「オスプレイについて、米側から日本への配備の通告はない」との回答があった。

質問 オスプレイの危険性、騒音などをどう認識しているか。

市長 開発段階から墜落事故が発生している事実があり、沖縄県のように民意にそぐわない飛行実態が報道されている状況から見ても、安全性が確保されているとはいえない。

質問 周辺自治体や、市民との連携を強め、都や国への働きかけを強める必要があるのではないか。

市長 報道があった日に、周辺自治体と共に、配備検討の撤回を求める要請書を外務大臣などへ提出した。これからもこれら自治体と連携して取り組んでいく。

公共料金の値上げストップ②
水道料金について

質問 使用料等審議会では、水道料金を平均21・33%引き上げるという内容が確認された。来年4月から消費税増税が予定される中、市民誰もが利用する水道料金の値上げは極力行うべきではないのでは。

市長 審議会から受ける答申を最大限に尊重していく。

質問 市民負担を抑えるためにも、適切な起債などが必要ではないか。

市長 起債は配水管の布設などに計画的に活用していく。

はしもと ひろたか
橋本 弘山 議員
(新公会市民クラブ)



◇職員地域担当制導入検討について
◇市役所の駐車場対策と
公共施設の有効利用について

職員地域担当制導入の
検討について

習志野市では、市職員の一人ひとりが各地域、地区の担当職員となり、問題解決を住民と共に考えている。

質問 このことは、市民サービスの向上や市民協働の視点から有効である。

市長 全職員の各町内会・自治会への加入状況は。

市長 加入状況は調査していないが、職員は主体的加入を前提としている。
質問 羽村市が抱える課題解決のため、習志野市のような制度の導入を検討してみたいかがか。また、

この制度を導入する場合の課題は何か。

市長 羽村市は行政面積もコンパクトであり、「市長への手紙」「市長とトーク」等の施策の実施や、「行政連絡委員」制度を活用し、日頃から地域の生の声が市に届きやすい環境の創出に努めており、習志野市の職員地域担当制の主旨は生かされていると捉えている。導入する場合の課題については、検討をしていない現段階で明確にすることは困難であるので、今後の課題とさせていただきます。

市役所の駐車場対策と
公共施設の有効利用について

市役所駐車場混雑緩和の施策について。

質問 庁舎での審議会、委員会、協議会等の会合の数と年間の開催回数は。

市長 庁舎内で開催される審議会等は現在63設置され、年間ではおよそ270回開催されている。

質問 それらの会議の開催場所を他の公共施設を有効活用することで駐車場の混雑の緩和が図られるのではないか。

市長 市の施策等を審議する会議等については基本的には庁舎で行うことが望ましいと考える。なお申告や行事等で駐車場が満車となる場合には、これまでと同様に庁舎近くの職員駐車場を臨時に来庁者に開放し対応していく。



▲市役所南側の第4駐車場